

2018 年度事業報告 特定非営利活動法人ふおーらいふ

総括

不登校状態にある児童・生徒が法人の教育理念「自主」「自立」「生活と命」に基づく活動へ主体的に参加することができた。また大阪コミュニティ財団、青少年本部、赤い羽根共同募金期間拡大、日本郵便株式会社年賀寄附配分などの助成を受け、地域でのイベントや交流を企画、スクールの児童・生徒たちが安全に各活動へ参画できるようサポートできたほか、それぞれの実践内容や結果について、冊子にまとめ、関係団体などへ発送・ノウハウを共有した。また、昨年度に引き続き、今期も職員の採用を行い、現場の人材確保に努めた。

(1) 青少年が主体となって総合的に学び、育ちあうフリースクールの運営

1. 自然体験・仕事体験の実施

神戸市教育委員会教育長の意見書により、日本郵便株式会社年賀寄附配分による助成を受け、田植え体験などの自然体験、垂水区民スポーツの日などの仕事体験、及び地域交流の各種活動を実施した。実践の様子や参加した子どもたちのナラティブ（語り）を冊子にまとめ、フリースクールを始めとする、多様な教育機会を確保する支援団体などへ発送した。また同冊子は、WEBへ公開するとともに、情報を必要とする保護者に配布し、一般者500円で頒布した。



高丸幼稚園での仕事体験

2. 社会貢献学習・地域交流の実施

社会貢献学習として、プルタブ de 車椅子寄贈プロジェクトおよびガチャガチャ de 社会貢献学習を実施した。なお、プルタブ de 車椅子寄贈プロジェクトについては、近隣の個人や団体に限らず、東北地方の個人や、関東圏の一般企業などからもプルタブが寄付されるようになり、範囲やセクターが広がってきてている。



寄付されたプルタブ

3. その他の活動について

フリースクールの子どもたちの企画を中心に、20周年の記念事業の一環として、文化祭「仲間展」を実施。レバンテ垂水の多目的室にて、卒業生と在校生の共同制作による映像の上映や、在校生による音楽演奏、企画・展示などを行った。



文化祭「仲間展」記念写真

(2) 学習およびコミュニケーションに関する支援事業

1. 義務教育後の若者支援

大阪コミュニティ財団の助成を受け、コミュニティ喫茶を実施し、実践内容について冊子にまとめた。なお、冊子については、若者支援団体などへ無料で発送し、WEBへ公開するとともに、一般にも、無料で頒布した。

2. 放課後クラブについて

毎週水曜 16 時から、年間でのべ 38 日、発達障害などの学びづらさがある小・中学生の学習支援を実施した。

夏休みに地域の子どもに向けて、「宿題やっつけ隊」と称し夏休みの工作や作文のサポートを行った。述べ 8 人参加。

(3) 生涯学習に関する機会と場の提供

1. 公開講座の企画実施について

当法人のフリースクール開校 20 年記念事業の一環で、西野博之氏（精神保健福祉士・たまりば理事長）を講師に迎え、こどもの SOS と居場所のチカラをテーマとした講演会を開催し、のべ 68 名が参加した。

2. インターンシッププログラムについて

神戸学院大学の学生インターン 1 名を受け入れし、6 ヶ月かけ、のべ 48 時間にわたり多様な教育と NPO 実務等について研鑽する機会を提供した。また、兵庫県立大学看護学部の病院実習生 2 名を受け入れし、のべ 5 日間の実習機会を提供した。

(4) 教育や不登校などの相談及び支援・情報の提供活動

1. 情報提供活動について

当法人多目的室（ルーム B）にて、毎月第 3 土曜日に一般公開の親の会を開催し、年間 11 回、のべ 98 名が参加した。また、隔月の奇数月第一土曜日に、こうべ LD の会と協働で、発達障害について考える親の会を開催し、年間 6 回、のべ 25 名が参加した。

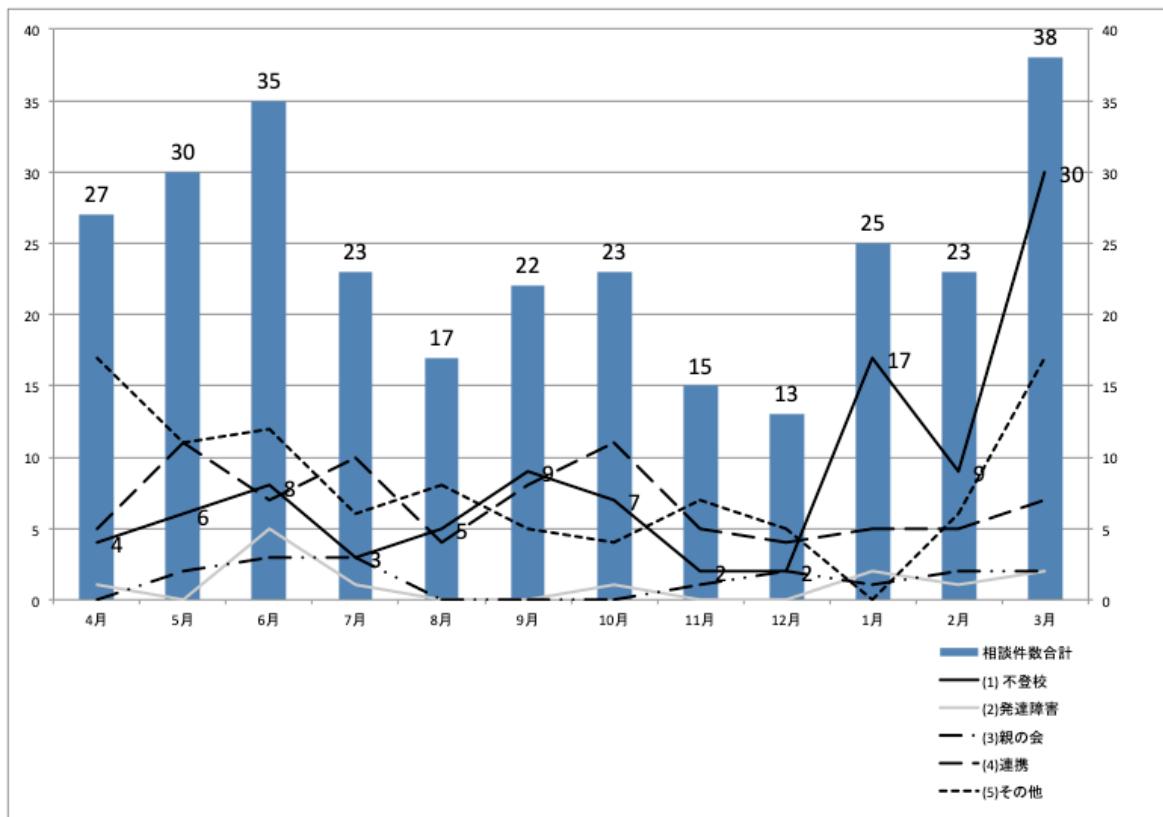
株式会社イオンリテール主催のイオン幸せの黄色いレシートキャンペーンや地元自治会主催の地域行事へ参加した。

団体機関紙「ゆう通信」を年 4 回発行し、会員、支援者、関係機関約 250 ヶ所へ発送した。

2. 情報提供のうち団体内部での取り組みについて

毎月第 3 土曜日に、職員・ボランティアなど団体関係者が情報共有できる定例会を開催し、各自が抱えるケースの共有や、不登校・普通教育機会確保法関連の研修等を受講した内容について、伝達講習を行い、各自の能力開発を推進した。この他、神戸市 NPO 等アドバイザー派遣事業による会議体を設け、組織改革に取り組んだ。

(図1) 2018年度の相談件数の推移



※ 相談件数は、電話、メールの合計

(5) その他第3条の目的を達成するために必要な事業及び前号の事業に付帯する事業

1. 当法人の地域参画等について

フリースクール全国ネットワーク、ふりー！すぐーりんぐなどが主催する会議体において、不登校支援団体との意見交換や各種提言、企画などに協力した。また「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法」(教育確保法)の成立に伴い引き続き「兵庫県フリースクール連絡協議会」に主体的に参画し、各教育委員会(神戸市/明石市/尼崎市など)との連絡会に参加し、不登校の子どものために、より良い環境設定の要望を示した。その他、当法人の蓄積(教育・福祉・子ども・青少年)を活かし、神戸市垂水区社会福祉協議会と協働し、赤い羽根共同募金を財源とする公募型助成事業の仕組みづくりに従事した。また、NPO法人しゃらくが受託する神戸市協働と参画のプラットホームの運営のうち、持続可能な開発目標(SDGs)をテーマとした神戸ソーシャルセミナーの企画・開催に携わった。